

木造住宅の耐震診断と補強方法

「一般診断法」による補強計算

方法 1

財団法人 日本建築防災協会

*方法 1 とは、在来軸組構法や枠組壁工法など、壁を主な耐震要素とする住宅が対象の診断方法を指します。

1. 建物概要

① 建物名称 :

② 所在地 :

③ 竣工年 : 昭和 53年 築10年以上

④ 建物仕様 : 木造2階建

非常に重い建物(屋根仕様:土葺瓦屋根等 壁仕様:土塗外壁+ボード内壁)

⑤ 地域係数 Z : 1.0

⑥ 軟弱地盤割増 : 1.0

⑦ 形状割増係数 : 1階=1.00

⑧ 積雪深さ : 無し(1m未満)

⑨ 基礎形式 : I 健全な鉄筋コンクリートの布基礎又はべた基礎

⑩ 床仕様 : I 合板 (4m以上の吹き抜けなし)

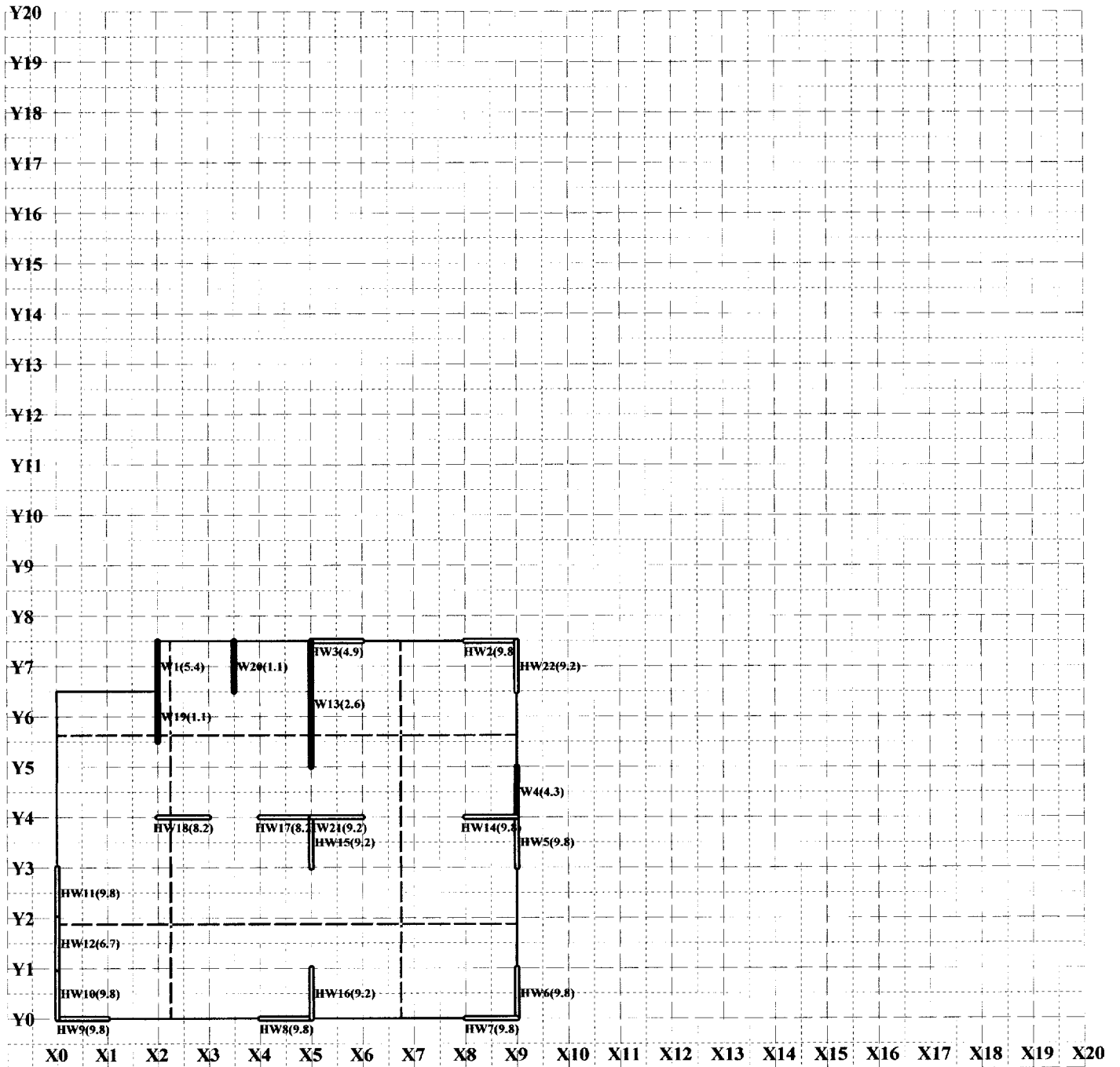
⑪ 主要な柱の径 : 140mm未満

⑫ 接合部 : III ほぞ差し、釘打ち、かすがい等(構面の両端が通し柱の場合)

* パスとファイル : C:\Documents and Settings\加藤宗広\My Documents

2. 壁配置図

1階 (1モジュール=910mm)

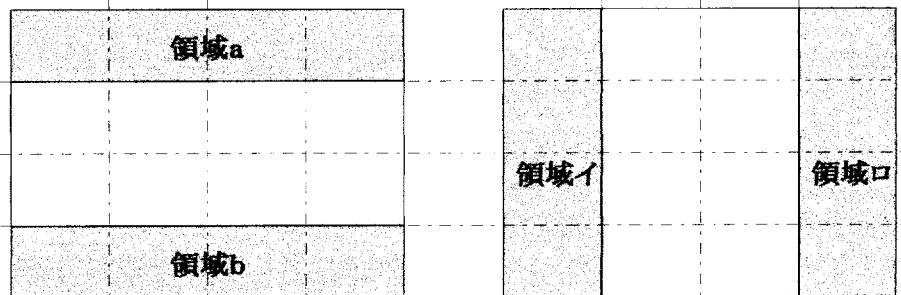


注) Wi():壁番号、()内には壁強さ倍率を示す。
 HWi():は補強した壁又は補強のために設けた壁を示す。

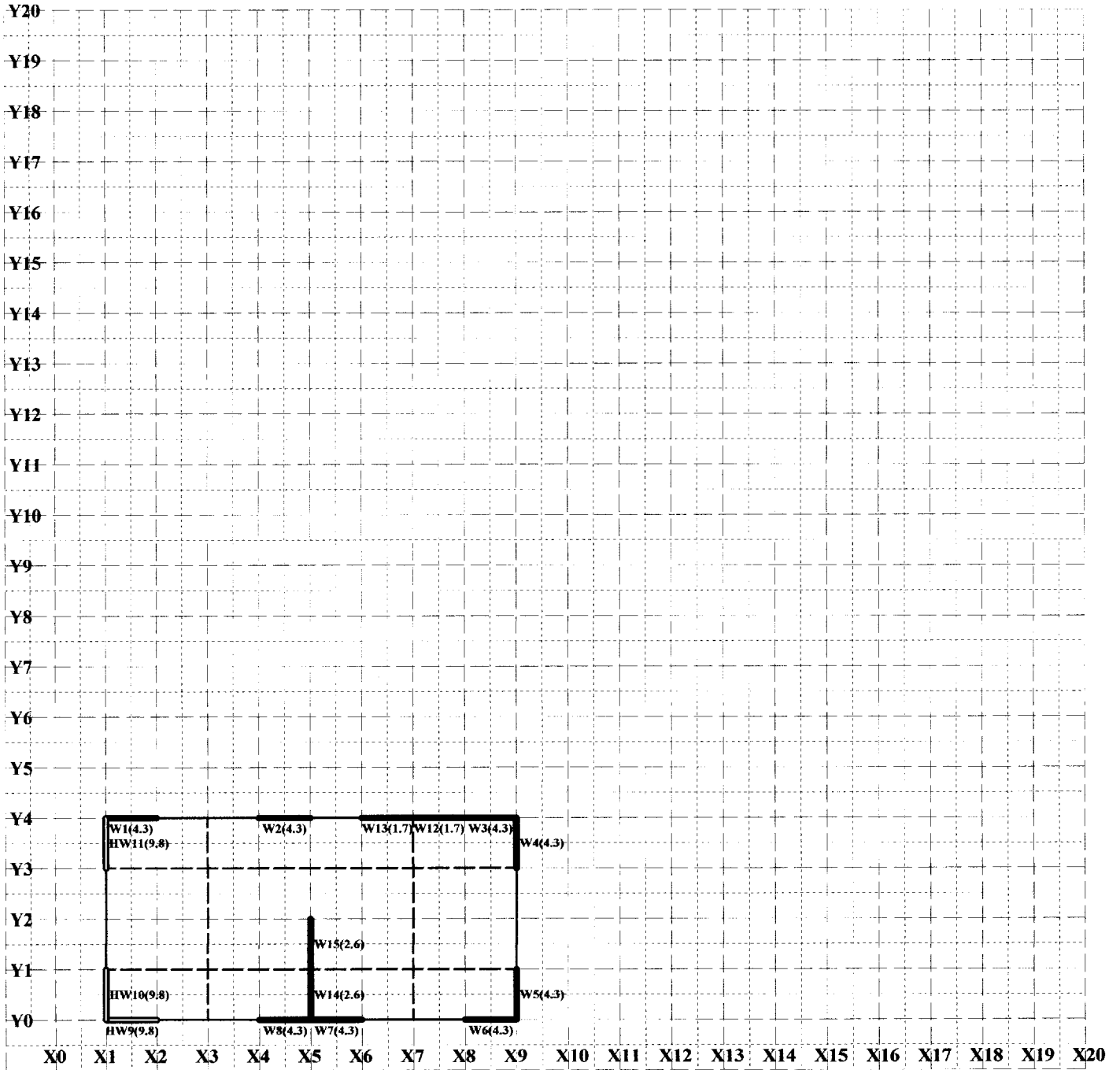
1階各領域の面積

領域	面積(m ²)
a	12.32
b	13.97
イ	12.32
ロ	13.97
全体	54.24

領域凡例



2階 (1モジュール=910mm)



注) Wi():壁番号、()内には壁強さ倍率を示す。
 HWi():は補強した壁又は補強のために設けた壁を示す。

2階各領域の面積

領域	面積(m ²)
a	6.62
b	6.62
イ	6.62
ロ	6.62
全体	26.50

■部材リスト [その他(別添仕様)がある場合は、具体的仕様がわかる資料を添付]
 [HWi, HCi, HTiは補強した部材又は補強のために設ける部材を示す。]

<1階> 壁

W1	(X2,Y6.5)-(X2,Y7.5)	壁強さ倍率=5.4 (kN/m)	外面: 1.7 芯 : 2.6	土塗り壁 塗厚50未満 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 1.1 木ずりを釘打ちした壁(胴縁仕様)
		接合部:同建物概要の接合部仕様 基礎形式:同建物概要の基礎形式		
HW2	(X9,Y7.5)-(X8,Y7.5)	壁強さ倍率=9.8 (kN/m)	外面: 1.7 芯 : 3.2	土塗り壁 塗厚50未満 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
		接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様 基礎形式:同建物概要の基礎形式		
HW3	(X6,Y7.5)-(X5,Y7.5)	壁強さ倍率=4.9 (kN/m)	外面: 1.7 芯 : 3.2	土塗り壁 塗厚50未満 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 0 無し
		接合部:同建物概要の接合部仕様 基礎形式:同建物概要の基礎形式		
W4	(X9,Y4)-(X9,Y5)	壁強さ倍率=4.3 (kN/m)	外面: 1.7 芯 : 2.6	土塗り壁 塗厚50未満 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
		接合部:同建物概要の接合部仕様 基礎形式:同建物概要の基礎形式		
HW5	(X9,Y4)-(X9,Y3)	壁強さ倍率=9.8 (kN/m)	外面: 1.7 芯 : 3.2	土塗り壁 塗厚50未満 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
		接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様 基礎形式:同建物概要の基礎形式		
HW6	(X9,Y1)-(X9,Y0)	壁強さ倍率=9.8 (kN/m)	外面: 1.7 芯 : 3.2	土塗り壁 塗厚50未満 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
		接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様 基礎形式:同建物概要の基礎形式		
HW7	(X9,Y0)-(X8,Y0)	壁強さ倍率=9.8 (kN/m)	外面: 1.7 芯 : 3.2	土塗り壁 塗厚50未満 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
		接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様 基礎形式:同建物概要の基礎形式		
HW8	(X5,Y0)-(X4,Y0)	壁強さ倍率=9.8 (kN/m)	外面: 1.7 芯 : 3.2	土塗り壁 塗厚50未満 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
		接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様 基礎形式:同建物概要の基礎形式		
HW9	(X1,Y0)-(X0,Y0)	壁強さ倍率=9.8 (kN/m)	外面: 1.7 芯 : 3.2	土塗り壁 塗厚50未満 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋)

	外面: 5 構造用パネル(OSB)
	接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎形式: 同建物概要の基礎形式
HW10 (X0,Y0)-(X0,Y1)	壁強さ倍率=9.8 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯 : 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
	接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎形式: 同建物概要の基礎形式
HW11 (X0,Y2)-(X0,Y3)	壁強さ倍率=9.8 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯 : 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
	接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎形式: 同建物概要の基礎形式
HW12 (X0,Y2)-(X0,Y1)	壁強さ倍率=6.7 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 5 構造用パネル(OSB)
	接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎形式: 同建物概要の基礎形式
W13 (X5,Y7.5)-(X5,Y5)	壁強さ倍率=2.6 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
	接合部: 同建物概要の接合部仕様
	基礎形式: 同建物概要の基礎形式
HW14 (X9,Y4)-(X8,Y4)	壁強さ倍率=9.8 外面: 5 構造用パネル(OSB) (kN/m) 芯 : 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
	接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎形式: 同建物概要の基礎形式
HW15 (X5,Y4)-(X5,Y3)	壁強さ倍率=9.2 外面: 5 構造用パネル(OSB) (kN/m) 芯 : 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 1 化粧合板(厚5.5:真壁)(胴縁仕様)
	接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎形式: 同建物概要の基礎形式
HW16 (X5,Y1)-(X5,Y0)	壁強さ倍率=9.2 外面: 5 構造用パネル(OSB) (kN/m) 芯 : 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 1 化粧合板(厚5.5:真壁)(胴縁仕様)
	接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎形式: 同建物概要の基礎形式
HW17 (X5,Y4)-(X4,Y4)	壁強さ倍率=8.2 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
	接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎形式: 同建物概要の基礎形式
HW18 (X2,Y4)-(X3,Y4)	壁強さ倍率=8.2 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋)

		外面: 5 構造用パネル(OSB)
		接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎形式: 同建物概要の基礎形式
W19	(X2,Y6.5)-(X2,Y5.5)	壁強さ倍率=1.1 外面: 0 無し (kN/m) 芯: 0 無し 外面: 1.1 木ずりを釘打ちした壁(胴縁仕様)
		接合部: 同建物概要の接合部仕様
		基礎形式: 同建物概要の基礎形式
W20	(X3.5,Y7.5)-(X3.5,Y6.5)	壁強さ倍率=1.1 外面: 0 無し (kN/m) 芯: 0 無し 外面: 1.1 木ずりを釘打ちした壁(胴縁仕様)
		接合部: 同建物概要の接合部仕様
		基礎形式: 同建物概要の基礎形式
HW21	(X5,Y4)-(X6,Y4)	壁強さ倍率=9.2 外面: 3 構造用パネル(OSB)(胴縁仕様) (kN/m) 芯: 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 3 構造用パネル(OSB)(胴縁仕様)
		接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎形式: 同建物概要の基礎形式
HW22	(X9,Y7.5)-(X9,Y6.5)	壁強さ倍率=9.2 外面: 3 構造用パネル(OSB)(胴縁仕様) (kN/m) 芯: 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 3 構造用パネル(OSB)(胴縁仕様)
		接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎形式: 同建物概要の基礎形式
<2階> 壁		
W1	(X1,Y4)-(X2,Y4)	壁強さ倍率=4.3 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯: 2.6 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
		接合部: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
W2	(X4,Y4)-(X5,Y4)	壁強さ倍率=4.3 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯: 2.6 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
		接合部: 同建物概要の接合部仕様
W3	(X9,Y4)-(X8,Y4)	壁強さ倍率=4.3 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯: 2.6 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
		接合部: 同建物概要の接合部仕様
W4	(X9,Y4)-(X9,Y3)	壁強さ倍率=4.3 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯: 2.6 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
		接合部: 同建物概要の接合部仕様
W5	(X9,Y1)-(X9,Y0)	壁強さ倍率=4.3 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯: 2.6 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
		接合部: 同建物概要の接合部仕様

W6	(X9,Y0)-(X8,Y0)	壁強さ倍率=4.3 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
		接 合 部 :同建物概要の接合部仕様
W7	(X6,Y0)-(X5,Y0)	壁強さ倍率=4.3 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
		接 合 部 :同建物概要の接合部仕様
W8	(X5,Y0)-(X4,Y0)	壁強さ倍率=4.3 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
		接 合 部 :同建物概要の接合部仕様
HW9	(X2,Y0)-(X1,Y0)	壁強さ倍率=9.8 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯 : 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
		接 合 部 : I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
HW10	(X1,Y0)-(X1,Y1)	壁強さ倍率=9.8 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯 : 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
		接 合 部 : I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
HW11	(X1,Y4)-(X1,Y3)	壁強さ倍率=9.8 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯 : 3.2 筋かい木材45x90以上,端部金物あり(片筋) 外面: 5 構造用パネル(OSB)
		接 合 部 : I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
W12	(X8,Y4)-(X7,Y4)	壁強さ倍率=1.7 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接 合 部 :同建物概要の接合部仕様
W13	(X7,Y4)-(X6,Y4)	壁強さ倍率=1.7 外面: 1.7 土塗り壁 塗厚50未満 (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接 合 部 :同建物概要の接合部仕様
W14	(X5,Y0)-(X5,Y1)	壁強さ倍率=2.6 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
		接 合 部 :同建物概要の接合部仕様
W15	(X5,Y1)-(X5,Y2)	壁強さ倍率=2.6 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,端部金物なし(片筋) 外面: 0 無し
		接 合 部 :同建物概要の接合部仕様

3. 必要耐力の算出

A : 床面積 (m²)Q_y : 床面積当たり必要耐力 (kN/m²)Q_s : 積雪用必要耐力 (kN/m²)

Z : 地域係数

α : 軟弱地盤割増係数

β : 形状割増係数

γ : 混構造割増係数

Q_r : 必要耐力 (kN)

階	A	Q _y	Q _s	Z	α	β	γ	Q _r
2	26.50	0.78	0.00	1.0	1.0	1.00	1.0	20.67
1	54.24	1.41	0.00	1.0	1.0	1.00	1.0	76.48

4. 領域毎の必要耐力の算出 (耐力要素の配置などによる低減係数算出用)

A : 床面積 (m²)Q_y : 床面積当たり必要耐力 (kN/m²)Q_s : 積雪用必要耐力 (kN/m²)

Z : 地域係数

α : 軟弱地盤割増係数

β : 形状割増係数

γ : 混構造割増係数

Q_r : 必要耐力 (kN)

階	方向	領域	A	Q _y	Q _s	Z	α	β	γ	Q _r
2	X	a	6.62	0.78	0.00	1.0	1.0	1.00	1.0	5.17
		b	6.62	0.78	0.00	1.0	1.0	1.00	1.0	5.17
	Y	イ	6.62	0.78	0.00	1.0	1.0	1.00	1.0	5.17
		ロ	6.62	0.78	0.00	1.0	1.0	1.00	1.0	5.17
1	X	a	12.32	0.64	0.00	1.0	1.0	1.00	1.0	7.88
		b	13.97	1.41	0.00	1.0	1.0	1.00	1.0	19.70
	Y	イ	12.32	1.41	0.00	1.0	1.0	1.00	1.0	17.37
		ロ	13.97	1.41	0.00	1.0	1.0	1.00	1.0	19.70

5. 壁の強さの算出

No. : 壁番号

C : 壁強さ倍率 (kN/m)

f : 接合部耐力低減

L : 壁長 (mm)

Pwi : 各壁の耐力 (kN)

Pw : 領域内の壁の耐力の合計 (kN)

Pe : その他の耐震要素の耐力 (kN)

P : 領域の有する強さ (kN) $P=Pw+Pe$

階	方向	領域	No.	C		f		L		Pwi	Pw	Pe	P		
1	X	a	HW2	9.8	×	1.00	×	910	=	8.92	10.92	1.97	12.90		
			HW3	4.9	×	0.45	×	910	=	2.01					
		中	HW14	9.8	×	1.00	×	910	=	8.92	32.21	/	/		
			HW17	8.2	×	1.00	×	910	=	7.46					
			HW18	8.2	×	1.00	×	910	=	7.46					
			HW21	9.2	×	1.00	×	910	=	8.37					
		b	HW7	9.8	×	1.00	×	910	=	8.92	26.75	4.93	31.68		
			HW8	9.8	×	1.00	×	910	=	8.92					
			HW9	9.8	×	1.00	×	910	=	8.92					
		Σ											69.89	19.12	89.01
		1	Y	イ	W1	5.4	×	0.45	×	910	=	2.21	26.85	4.34	31.19
					HW10	9.8	×	1.00	×	910	=	8.92			
					HW11	9.8	×	1.00	×	910	=	8.92			
HW12	6.7				×	1.00	×	910	=	6.10					
W19	1.1				×	0.70	×	910	=	0.70					
中	W13			2.6	×	0.60	×	2,275	=	3.55	20.99	/	/		
	HW15			9.2	×	1.00	×	910	=	8.37					
	HW16			9.2	×	1.00	×	910	=	8.37					
	W20			1.1	×	0.70	×	910	=	0.70					
ロ	W4			4.3	×	0.70	×	910	=	2.74	28.95	4.93	33.87		
	HW5			9.8	×	1.00	×	910	=	8.92					
	HW6			9.8	×	1.00	×	910	=	8.92					
	HW22			9.2	×	1.00	×	910	=	8.37					
Σ											76.79	19.12	95.91		
2	X	a	W1	4.3	×	1.00	×	910	=	3.91	9.60	1.29	10.89		
			W2	4.3	×	0.45	×	910	=	1.76					
			W3	4.3	×	0.45	×	910	=	1.76					
			W12	1.7	×	0.70	×	910	=	1.08					
			W13	1.7	×	0.70	×	910	=	1.08					
		b	W6	4.3	×	0.45	×	910	=	1.76	14.20	1.29	15.49		
			W7	4.3	×	0.45	×	910	=	1.76					
			W8	4.3	×	0.45	×	910	=	1.76					
			HW9	9.8	×	1.00	×	910	=	8.92					
		Σ											23.80	5.17	28.97
2	Y	イ	HW10	9.8	×	1.00	×	910	=	8.92	17.84	1.29	19.13		
			HW11	9.8	×	1.00	×	910	=	8.92					

階	方向	領域	No.	C		f		L		Pwi	Pw	Pe	P
		中	W14	2.6	×	0.60	×	910	=	1.42	2.84		
			W15	2.6	×	0.60	×	910	=	1.42			
		口	W4	4.3	×	0.45	×	910	=	1.76	3.52	1.29	4.81
			W5	4.3	×	0.45	×	910	=	1.76			
		Σ									24.20	5.17	29.36

6. 耐力要素の配置等による低減係数

【床の仕様】I 合板(4m以上の吹き抜けなし)

階	方向	領域	領域の必要耐力 Qr	領域の保有する強さ P	充足率 P/Qr	耐力要素の配置等による 低減係数 E
2	X	a	5.17	10.89	2.11	1.00
		b	5.17	15.49	3.00	
	Y	イ	5.17	19.13	3.70	1.00
		ロ	5.17	4.81	0.93	
1	X	a	7.88	12.90	1.64	1.00
		b	19.70	31.68	1.61	
	Y	イ	17.37	31.19	1.80	1.00
		ロ	19.70	33.87	1.72	

7. 劣化度による低減係数

【築10年以上】

部位	材料、部材等	劣化事象	存在点数	劣化点数	
屋根 葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2		
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある			
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2		
	縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2		
外壁 仕上げ	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4		
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある			
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある			
バルコニー 手すり 壁	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある			
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
	外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある			
床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い			
内 壁	一般室 内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2		
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある	2	
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある		
床	一般室 床面	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2		
	廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1	1	
	床下	基礎の亀裂や床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2		
合 計			19	1	

劣化度による低減係数	$D=1-(劣化点数/存在点数)=$	0.95
------------	--------------------	------

8. 上部構造評点

階	方向	強さ P (kN)	配置などによる 低減係数 E	劣化度 D	建物保有耐力 Pd=P×E×D	必要耐力 Qr (kN)	上部構造評点 Pd/Qr
2	X	28.97	1.00	0.95	27.44	20.67	1.33
	Y	29.36	1.00	0.95	27.82	20.67	1.35
1	X	89.01	1.00	0.95	84.33	76.48	1.10
	Y	95.91	1.00	0.95	90.86	76.48	1.19

耐震診断依頼者	様
---------	---

総合評価（計算結果）

【地盤】

地盤	対策	記入	注意事項
よい			
普通		○	
悪い (埋立地、盛土、 軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている		
	杭基礎である		
	特別な対策を行っていない		

【地形】

地形	対策	記入	注意事項
平坦・普通		○	
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁		
	石積み		
	特別な対策を行っていない		

【基礎】

基礎	対策	記入	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全	○	逆T形布基礎コンクリートで鉄筋が入っています。ヘアークラックが認められますが、良好な基礎と思われます。
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全		
	ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固めあり		
	足固めなし		
その他 (ブロック基礎等)			

【上部構造】

上部構造評点のうち最小の値	1.10（一応倒壊しない）
---------------	---------------

注)1.5以上:倒壊しない 1.0~1.5未満:一応倒壊しない 0.7~1.0未満:倒壊する可能性がある 0.7未満:倒壊する可能性が高い

【その他注意事項】

判明している劣化に関しては補強・補修を行うことを前提としています。全ての部位の調査を行っていないため、劣化による低減係数が0.9となるように調整をして診断をしています。

診断者	加藤宗広	講習会	主催者	
所属	(有)三輝建創		講習修了番号	
連絡先	大垣市南高橋町2丁目97番地4 TEL:0584-78-6523			